

あなたの「何かできるかな」を応援する

プラスワンメールマガジン

★一 第80号 平成28年12月27日 一★

皆さんこんにちは。第80号のプラスワンメールマガジンをお届けします。早いもので今年も残すところあと数日です。今年1年いかがでしたでしょうか。

さて、12月は「寄付月間」と呼ばれていることを皆さんご存知でしょうか。

寄付の受け手側が寄付者に感謝するとともに、いただいた寄附がどれだけ役に立っているか寄附者に知っていただくこと、そして多くの人が寄付の大切さと役割に気づき、寄付に関心をよせ、行動するきっかけとなることを目指した月間です。

この機会に寄付の大切さについて考えてみる、あるいは実際に寄付してみたり。自分らしい寄付月間を過ごしていただけると嬉しいです。

第 | 80 | 号 |

— — — 【1】 プラスワン活動のススメ

も | く | じ | 県民協働課 CSO活動支援担当

— — —

【2】 プラスワン、してみませんか？

「昭和通若葉会（しょうわどおりわかばかい）」

□ ■ □

■ □ 【1】 プラスワン活動のススメ

□ 県民協働課 CSO活動支援担当

■

□

今月は、プラスワン活動のススメということで、10月に県職員向けに実施したプラスワン活動のアンケート結果をお知らせします。

毎年10月に実施していますが、今年は約1200名の方に回答いただき、回答者の約6割の方がプラスワン活動を行われていました。地縁団体（消防団、自治会、町内会、婦人会、PTA、子どもクラブ）などでプラスワンをされている方が多く（約580名）、次に支援団体（ボランティア団体、市民活動団体、NPO法人）において活動をされている方が多い（約180名）です。子どもの健全育成や学術・文化・芸術スポーツ振興、環境保全やまちづくりなど活動分野も多岐にわたっていました。

プラスワンを行っている職員からは、「地域とのつながりができた」、「活動を通じた人とのつながりが得られた」、「異業種の人とのかかわりができた」、「地域貢献ができる」、「達成感・満足感が得られる」、「普段とは違った視点で物事を見ることができる」、「現場感を感じられる」など活動を行ってよかった！という感想をたくさんいただいています。

一方、プラスワンを行っていない方は、仕事や家事育児、介護等との両立が難しいという理由が最も多いですが、こういった団体があるのかわからない、一緒に活動を行う仲間がいない、行きづらいと感じる方も多数いることがわかりました。

CSOと活動してみようと思われる職員とボランティアを募集するCSOをうまくマッチングできるよう私たちもCSOと一緒に情報発信していきます。

□■□

■□ 【2】プラスワン、してみませんか？

□ 「昭和通若葉会（しょうわどおりわかばかい）」

■

□

今回は大町町でボランティア活動に取り組まれている「昭和通若葉会」の山口信子代表にお聞きしました。

〔★聞き手：大町町社会福祉協議会職員〕

★どのようなボランティア活動をされている団体ですか？

65歳から80歳代の高齢者、自宅にこもりがちな一人暮らしの方の生きがいづくりのお手伝いとして、地区の公民分館で定期的に様々な活動をしています。折り紙や手芸、脳トレ、笑いヨガ、ロコモシンドローム予防体操など、工夫を凝らし、高齢者の健康維持や食生活のサポートを行っています。

★どのようなきっかけから現在の活動を始められましたか？

約10年間の親の介護をしていました。それが終わり、心の中に寂しさを感じている時、お世話になった高齢者施設のお医者さんから『ご両親の介護ご苦労様でした。これからはゆっくり、自分の為に時間を使って楽しんで下さいね！』とねぎらいの言葉をいただきました。その言葉に押されて、私にも何か出来ることはないかと考えました。

以前から、ボランティア活動に携わりたいと思っていましたので、身近な方々や近所に住む高齢者の方の役に立ちたいという思いで、昭和通若葉会を立ち上げました。

★どのような思いで活動に取り組まれていますか。また、実際に活動してみてどうでしたか？

私自身、人との関わりが好きな明るい性格なことや、これまで人と接する仕事をしてきた経験があったことから、当初は「人様のお役に立つことで、私自身にとっても生きがいづくりになれば」と思い活動をしていました。

実際に活動をしてみて、皆様が喜んでいただけた時や感謝の言葉もらった時は、とても嬉しく、また、有難く思っております。

★これまで活動を続けてこられた秘訣は何ですか？

今年で5年目となりますが、活動を続けていく上で必要なものとして、「一緒に活動

する仲間がいること」、「感謝の気持ち」、「反省と向上を心がけて自己啓発していくこと」の3つが大事だと思います。また、ボランティア活動とは言え、何事も一人ではできません。特に、公民分館を使った地区での活動は、区長をはじめ民生委員・児童委員、婦人会、食生活改善推進員など様々な方々の協力で成り立っています。様々な方々と協力して前向きに取り組んできたことや、会員の皆さんと楽しい時間を過ごそうと心がけてきたことが良かったのだと思います。

★最後にボランティアに興味のある方にメッセージをいただけますか？

小さな思いつきや自分が好きだと思えること、そして少しのやる気があればボランティア活動は誰にでも出来ることだと思います。奇をてらうことのない奉仕の心はもちろん、趣味を活かしたサークルに参加し、共有できる人との出会いや自分自身の生きがいを見つけられます。私の場合は、誰かの喜ぶ笑顔を見たいとの思いで取り組んでいます。昭和通若葉会では現在手作りのお手玉や肩たたきの道具を作っており、町内の高齢者施設へお届けして地域交流の輪を今以上に深めていこうと考えています。

《お問い合わせ先》

大町町社会福祉協議会 電話 0952-71-3001



★これまでの『プラスワンメールマガジン』については、佐賀県ホームページをご覧ください。

<http://www.pref.saga.lg.jp/list03176.html>

★『さがCSOポータル： <http://www.cso-portal.net/>』絶賛更新中！

佐賀県で唯一のCSO情報ポータルサイトです。CSOが開催するイベント情報やボランティア情報、助成金情報などを発信しております。

★『CSO・ボランティアネット（携帯・PCメールでの有益情報）』配信中！

CSO関連の有益情報（イベント・助成金情報等）をタイムリーにメールでお届けします。まずはお気軽に「CSO@123123.tv」に空メールをお送りください。

県では、CSO関係者や県民の皆さまにとって役立つ情報を広くお知らせしていきたいと考えています！お知り合い等にもメール情報を転送して登録をお勧めいただくことで、情報の輪が広がれば幸いです。

さらに役立つ情報をお届けできるよう、皆さまからの情報提供・ご意見もお待ちしております。

（ご連絡先）

佐賀県県民協働課（kenminkyoudou@pref.saga.lg.jp）

※本メールマガジンは、登録申請された方はもとより、当課職員が名刺交換の際に受信の了承をされた方々等に配信させていただいております。

また、本メールマガジンは、プラスワン活動の推進を目的として発行しております

ので、当課の事前了承（著作権使用許諾）がなく転載・転送されても結構です。

なお、本メールマガジンの配信がご不要になられた方はお手数ですが、配信停止のご連絡をお願いいたします。

.....
注) プラスワン運動とは :

仕事や家庭のほかにもうひとつ社会的役割を持ちましょう！と佐賀県が進めている運動です。

注) CSOとは :

Civil Society Organizations (市民社会組織) の略で、NPO法人、市民活動・ボランティア団体に限らず、自治会、婦人会、老人会、PTAといった組織・団体も含めて、「CSO」と呼称しています。

.....
「「

■発行責任者

佐賀県県民協働課 課長 野中 幸子

■編集担当

佐賀県県民協働課
CSO活動支援担当 宮司 愛子
E-mail kenminkyoudou@pref.saga.lg.jp
TEL 0952-25-7374

社会福祉法人 佐賀県社会福祉協議会
まちづくり課 古賀 浩一郎
TEL 0952-23-2145

「「「「「「「「「「「「「「「「「「「「「「「「「「「「「「「「「「「「「」